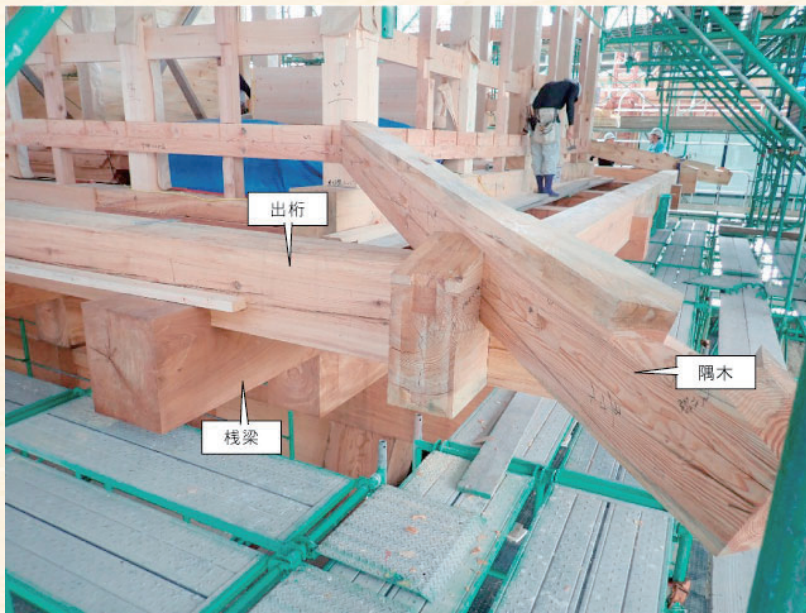


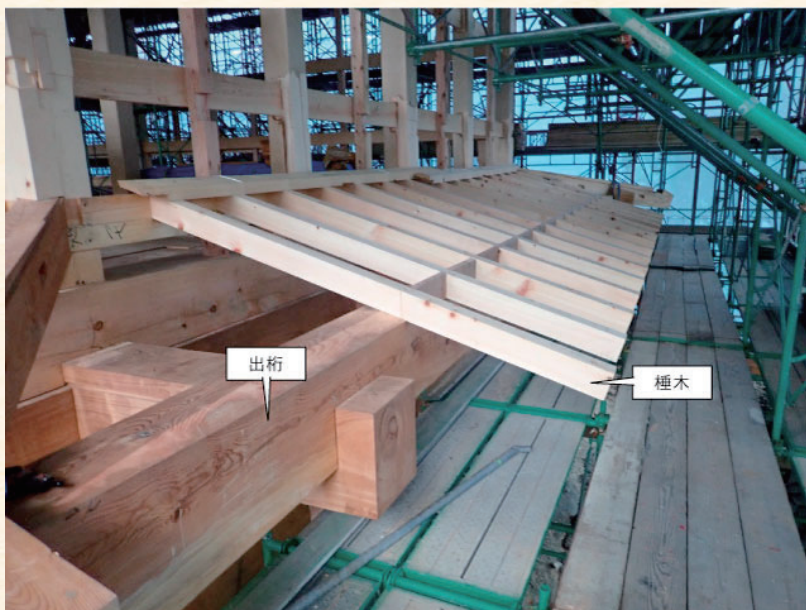
下層屋根

8月5日より、下層屋根(1階・2階間)の工事が始まりました。
※見学者通路から見る事ができる部分です。

栈梁(さんばり)の上に出桁(でげた)を掛け渡し、柱に柄(ほぞ)で刺さった隅木(すみぎ)を出桁の上に取り付けます。



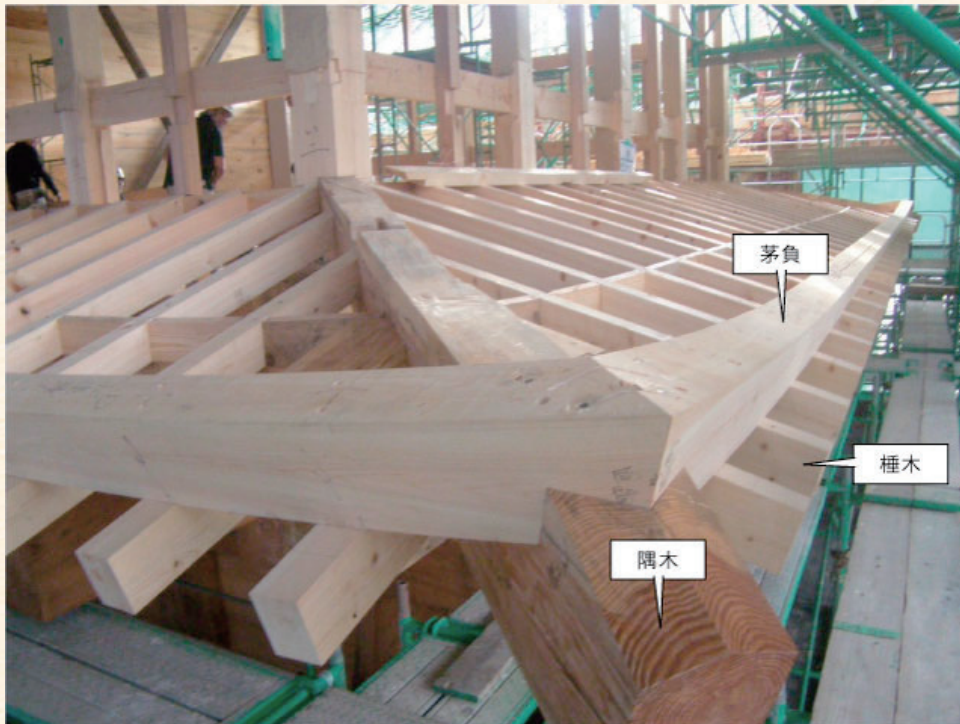
出桁の上に、種木(たるぎ)を取り付けていきます。



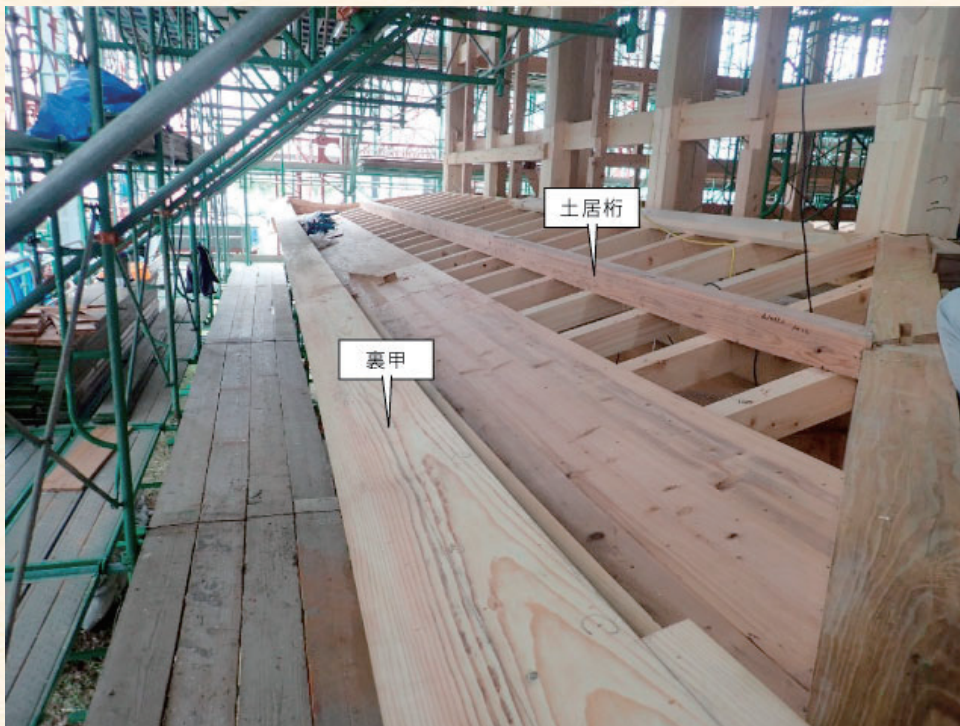
檼木の上には、茅負(かやおい)を取り付けます。

茅負は、原寸図で決定した曲線に倣って加工して取り付けます。

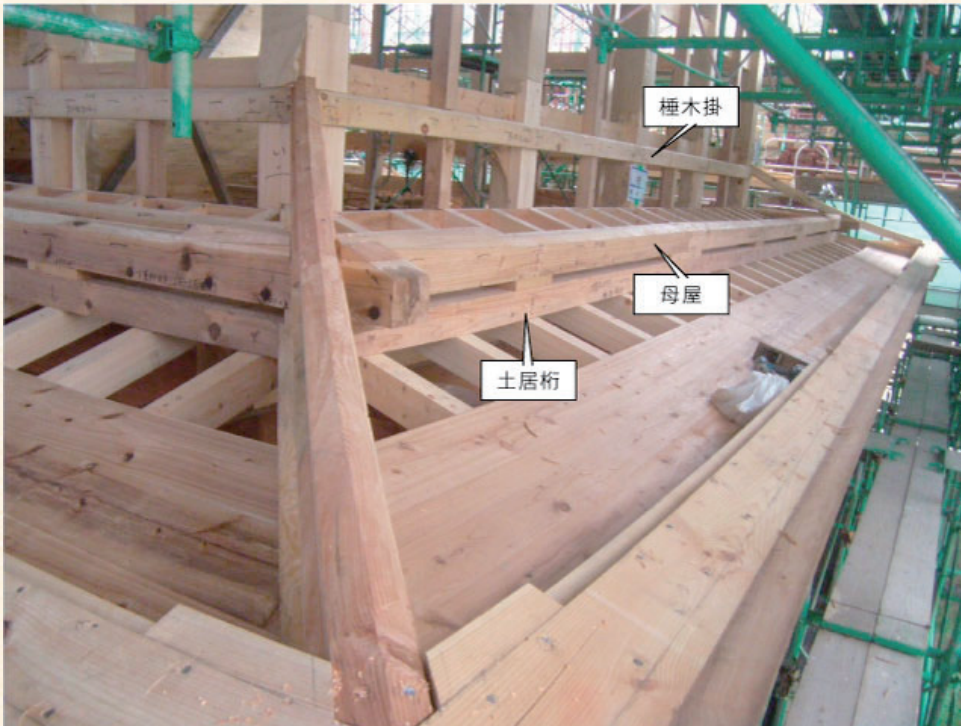
きれいな曲線になっています。



檼木の上には、土居桁(どいげた)をのせていきます。

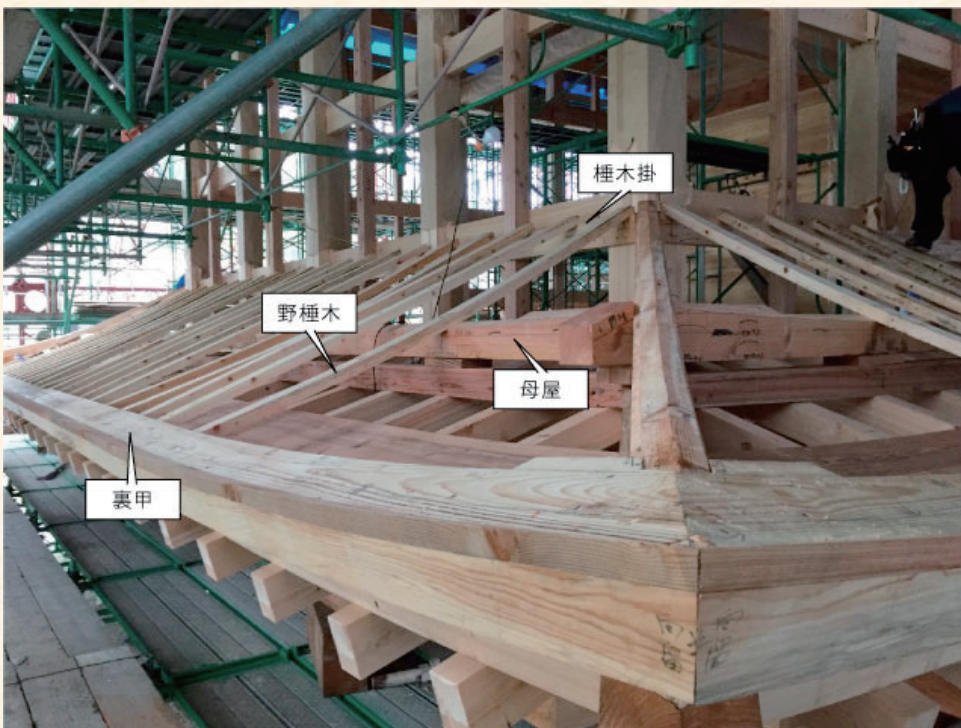


土居桁の上には母屋(もや)を納め、柱には榑木掛(たるきがけ)を納めます。

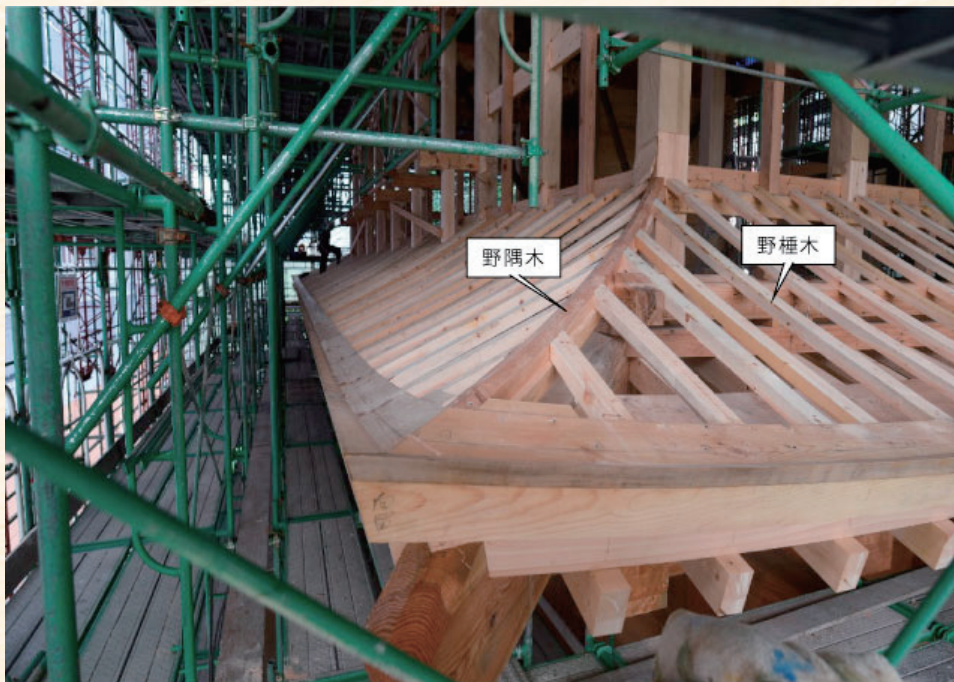


榑木掛と母屋と裏甲(うらごう)に、野榑木(のだるき)を止めていきます。

野榑木に曲線を付けるためには、高さを調整した母屋に止める事によって、自然ときれいな緩やかな曲線になります。



野樺木を取り付け、屋根の緩やかな曲線が出来上がってきました。



野樺木の緩やかな曲線に合わせて、野地板(のじいた)を張っていきます。



大屋根の正面側(国道10号線側)2階には、出格子窓(でごうしまど)があり、出庇(でびさし)が付きます。

屋根の野地板を張る前に、出庇の柱と腕木(うでぎ)を取付けます。です。



下層屋根の完成です。

滑らかな曲線を持つ、美しい仕上がりになりました。

